

平成 29 年 12 月 18 日

会 員 各 位

構 造 懇 話 会
会 長 森 川 英 典

第 495 回 構造懇話会 平成 29 年度新例会のご案内

構造懇話会の運営に際しまして、日頃よりご支援賜り、誠に有難うございます。
標記の平成 29 年度新例会を下記のとおり開催いたします。
新例会は以下の通り、会員諸氏の常日頃の身近なテーマを取り上げています。
兵庫県、神戸市および各会社、団体の関係部局にもご案内をいただき、活発な
討議を期待しています。多数ご出席くださいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成 30 年 1 月 18 日 (木) 13:10~16:55
○新例会終了後、懇親会 (17:30~19:30) を開催いたします。

2. 場 所 神戸市教育会館 大ホール
神戸市中央区中山手通 4-10-5 TEL 078-222-4111

3. テーマ 『 橋梁技術の今後の展開 ~技術の伝承と新技術開発~ 』
○詳細はプログラムをご参照ください。

[連絡先]

〒530-0012 大阪市北区芝田 1-4-8 北阪急ビル 4 階
阪急設計コンサルタント株式会社 岡重 嘉泰
TEL : 06-6359-2756 / FAX : 06-6359-2762 / e-mail : okashige-y873@sekkei.hankyu.co.jp

- [案内図] □ 印：新例会会場 神戸市教育会館 大ホール
□ 印：懇親会会場 ラッセホール地下 1F パンジー



構造懇話会 URL <http://www.kozokonwakai.org/>

第 495 回 構造懇話会 新例会プログラム

テーマ：「橋梁技術の今後の展開 ～技術の伝承と新技術開発～」

日 程：平成 30 年 1 月 18 日（木）

時 間：13：10～16：55

場 所：兵庫県私学会館 大ホール

13：10～13：15 開会の挨拶
構造懇話会会長 森川 英典

13：15～14：20 講演①
「私の鋼橋体験 —若い人に伝えたいこと」
構造懇話会特別会員
祝 賢治 氏

14：20～15：25 講演②
「更新・改築に適した新技術開発と兵庫管内の大規模更新・修繕計画」
阪神高速道路株式会社
茂呂 拓実 氏

15：25～15：40 休憩

15：40～16：50 特別講演①
「橋梁点検ロボットカメラの開発と実用化」
三井住友建設株式会社
藤原 保久 氏

16：50～16：55 閉会の挨拶
構造懇話会副会長 嵯峨 晃

講演①

「私の鋼橋体験 ―若い人に伝えたいこと」

① 講演者

構造懇話会特別会員 祝 賢治氏

② 講演内容

鋼橋に関する私の知識・経験に基づき、若い技術者に参考になると思われる事例について話題提供をしたい。まず、(1)疲労破壊として (a) 門型標識柱の鋼管基部の亀裂、(b) 支承アンカーボルトの破損、(c) 鋼製橋脚隅角部の事例を紹介する。次に、(2) 予防保全の一例としてモノレール鋼軌道桁の疲労検討を述べる。続いて、(3) 開口部のある板の座屈に関して、脚柱あるいは鋼桁ウェブに開口部を設けた板の耐荷力に触れる。最後に、(4) 鋼橋の架設時の事故例について述べる。

特別講演②

「更新・改築に適した新技術開発と兵庫管内の大規模更新・修繕計画」

① 講演者

阪神高速道路株式会社 茂呂 拓実 氏

② 講演内容

阪神高速道路は狭隘な都市空間に位置し、過酷な交通状況にあり、近年阪神高速で取り組んだ更新・改築に適する3つの技術である(a)耐震橋脚システムの開発、(b)複合杭によるフーチング増設技術、(c)床版取り替えに対応したプレキャスト床版の開発を紹介する。次に、阪神高速道路の大規模更新・修繕計画のうち、兵庫管内の現時点での計画について紹介する。

特別講演③

「橋梁点検ロボットカメラの開発と実用化」

① 講演者

三井住友建設株式会社 藤原 保久 氏

② 講演内容

橋梁等構造物を効率的に点検するロボットカメラを開発した。本ロボットカメラは、橋桁の下面や支承部など近接目視が困難な箇所に対して、架台（ポールユニット）を用いて視準可能な高さに点検専用カメラを据付け、タブレット端末から遠隔操作により観察および映像記録採取を行う装置である。本装置の特徴は、タブレット画面上に計測目盛およびクラックスケールを表示し、損傷箇所の大きさやひび割れ幅が計測できることである。本装置を用いて橋梁点検を行うことによって、橋梁点検車や梯子・脚立を用いて近接目視を行う従来の方法に比べて安全性や経済性を向上させることができる。様々な使用事例を紹介しながら効率的な点検方法を提案する。